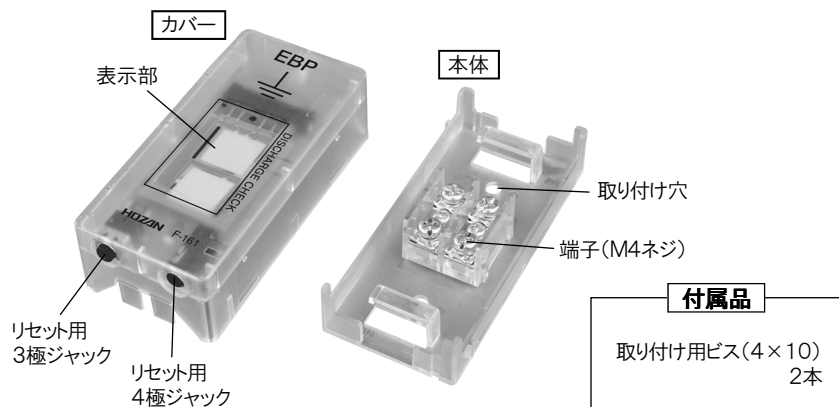


F-161 アースターミナル (静電気通過表示機能付)

このたびはホーザン F-161 アースターミナル(静電気通過表示機能付)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

各部の名称と入組明細



仕様

静電気反応電圧	HBM1000V以上
内部抵抗	1MΩ未満
接続端子	4口(うち2口は幹線専用/ネジサイズM4) ESD管理アイテムからのアース線は4本まで接続できます。
外形寸法	42(W)×26(H)×88(D)mm
重量	55g

■本器のご使用には F-245 リセットキーが必要です。

ご使用上の注意

警告

1. 動力用のアース線を接続しないでください。感電の恐れがあります。
2. アース線や端子に活線を接触させないでください。感電の恐れがあります。

注意

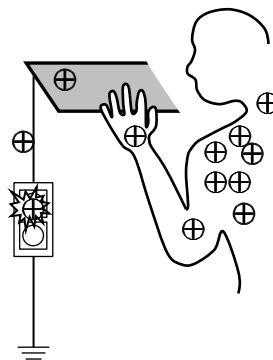
1. アース線は必ずアースしてください。アースが無効な場合は静電気の通過がなく、本器も正しく動作しません。
2. (+)(-)表示が同時に表れることが稀にあります。この場合、導電性マット上に設置された商用電源を使用した機器類から漏電している恐れがあります。静電気の通過の場合は(+)あるいは(-)の表示のどちらかに限定されます。機器類のアースおよび絶縁状態をご確認ください。
3. 本製品の反応が鈍い場合は、導電性マット裏面から電流が流出している恐れがあります。メッキ仕上げの棚板や塗装のはがれた金属板など導体の棚板の場合、アース線の経路よりも抵抗が低いとマット裏面から棚板を経由し床などに電流がバイパスされることがあります。この場合は、静電気による電流がアース線を経由しないため、本器に表示が表れません。回路上の取り付け位置の変更や棚板と導電マットの間に絶縁層を設ける工夫が必要です。

本器の原理

本器は、人の動作で発生する静電気の電圧(1kV以上)で表示するよう設定しています。

静電気対策が正しく機能した作業現場では反応しませんが、対策上のエラー、不整合が発生した折に、人に起因する静電気を検知、表示します。帯電した人やモノが導電性マットなどに触れると、接続されたアース線を静電気による電荷が移動します。この電流で本器の表示が表れる仕組みです。

- ・+の電流が流れた場合は本器表示部に+が表れ、-の電流が流れた場合は-表示になります。
- ・1kV程度の静電気の通過ごとに表示の黒色が徐々に濃くなっていきます。
- ・本器表示有無に限らず、本器の内部抵抗は1MΩ未満です。導電性マットとの合成抵抗にはほとんど影響を及ぼしません。



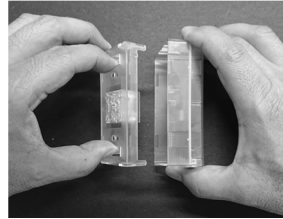
設置方法

- 1 本器の設置場所を決めてください。
本器の表示を目視点検しやすい高さ、向きを選んでください。
また、人の歩行や台車の走行等に邪魔にならない、あるいは誤って破損しないような位置へ設置してください。
表示のリセットは、本体下部のジャックへ、リセットキーのプラグを接続して行います。プラグの抜き差しに差し支えない位置・向きにご注意ください。

作業台や棚に敷かれた導電性マットのアース線を複数取りまとめ、幹線に接続する箇所に取り付けます。

- 2 取り付け位置が決まれば、配線作業に入ります。
すでにアース線が配線されている場合は、任意の位置に割り込ませる形で取り付けます。

- 3 本体とカバーを分離してください。本体底の穴に指先をかけて掴み、もう片方の手でふたを保持し引っ張ると外れます。

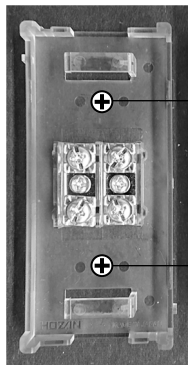


- 4 付属のビスで本体を固定します。

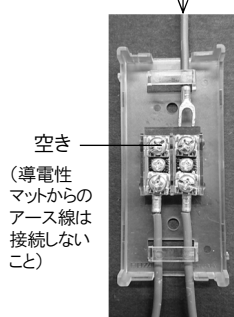
- 5 写真を参考に配線してください。

- 6 写真の向きでカバーを取り付けます。
方向を誤ると表示される極性が入れ替わります。ご注意ください。

- 4 付属のビスで固定



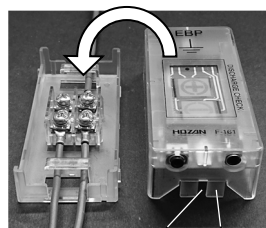
- 5 導電性マットから (2本まで接続できます)



アース線へ
導電性マットから (2本まで接続できます)

3

- 6



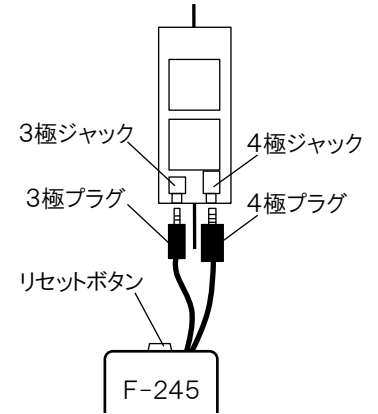
アース線が中央のミノ部だけではおさまらないときは、ここを折ってください。

ご使用方法

- 1 設置完了後、本器をリセットします。
リセットキー(F-245)付属のプラグを本器ジャックへ接続します。
ジャックに向かって右側が太い4極プラグ、左側が細い3極プラグです。奥までしっかりと差し込んでください。

- 2 F-245のリセットボタンを数回押してください。
本器ディスプレイ面に表れていた(+)あるいは(-)表示が消去されます。

- 3 F-245 を取り外し、準備完了です。



- 本器を設置した現場で静電気の発生があった場合、アース線から本器を経由し大地へ電気が流れます。このとき、その電流に反応して本器前面の表示窓に極性を示すマークが出ます。(2ページ「本器の原理」参照)
- 表示窓のマークが表示されると、一年以上維持します。
+、-表示が同時に表れることが稀にあります(2ページ△注意参照)。
- 本器の設置後は、定期的に表示の有無を確認してください。
表示が確認された場合は、設置場所、日付、極性を記録しておきます。
後日静電気によるエラーが確認されたときに、この記録により発生箇所を特定できます。

関連製品

F-245 リセットキー



技術的なお問い合わせ

ホーサン テクニカルホットライン

☎06-6567-3132 E-mail: th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00・13:00~17:00】

補修部品については、web上のパーツリストをご覧ください。
通信販売もご利用いただけます。 ホーサン 通信販売 検索

ホーサン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町 1-2-12
TEL(06)6567-3111 FAX(06)6562-0024

4